

【 診療科:婦人科】

【 レジメン登録番号:GY-29 】

〈 DC+Bevacizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
ベバシズマブBS	15mg/kg	div	○														
ドセタキセル	60mg/m ²	div	○														
カルボプラチン	AUC:5~6	div	○														

【1コース期間: 21日】

【総コース数: 6コース(終了後はベバシズマブBS単剤へ)】

【適応癌種: 卵巣癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ベバシズマブBS 15mg/kg	div(初回90分、2回目60分、 3回目以降30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	H ₂ Blocker 1A	div(10分で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	5HT ₃ Blocker 1A	div(30分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	ドセタキセル 60mg/m ²	div(60分で)
	5%ブドウ糖 250mL	
Rp.5	カルボプラチン AUC:5~6	div(60分で)
	5%ブドウ糖 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(フラッシュ用、全開で)

【参考文献: Incorporation of Bevacizumab in the Primary Treatment of Ovarian Cancer. N Engl J Med 2011;365:2473-83】

【備考:】

【変法情報: イmend(アプレピタント)使用時は、デキサートの投与量を 4.95mg/回に半減する。】